



参考3. 曙酒造合資会社

■基本情報

企業名	曙酒造合資会社
本社所在地	福島県河沼郡会津坂下町
設立年	1904年

■取り組みの背景・認識した地域課題

東日本大震災で大きな被害を受けた

地域課題	地域資源
震災復興 <ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災が発生して、曙酒造も被害に見舞われた。製造設備のある建物3棟すべてが半壊、倉庫に保管されていた多くの酒は床に散乱して失った。また、福島第一原子力発電所の事故により地震とは別の対応を迫られた。こうした苦境から脱し、事業の再生・復興を実現することが求められていた。 	醸造技術 <ul style="list-style-type: none"> 1904年創業の曙酒造は長年に渡って醸造技術を培ってきた。 醸造過程で発生する酒粕 <ul style="list-style-type: none"> 日本酒の醸造過程で発生する酒粕は、その風味や栄養素を強みとし、様々な食品の原材料として利用しうるポテンシャルを持つ。




■商品・サービス内容

全国47都道府県の米を利用した「興こし酒・絆舞」を開発、さらに様々な地域の食品メーカーが連携して酒粕を利用した食品を多数実現、資源と資金の循環を繋げて全国各地に広めている

- 曙酒造合資会社（以降、曙酒造）は、福島県河沼郡会津坂下町で1904年から日本酒造りを手掛けてきた老舗企業である。東日本大震災で大きな被害を受けたが、事業の再生・復興に取り組んでいる。
- 曙酒造は、2017年より“よい仕事おこしネットワーク”と連携して地域連携プロジェクト「興こし酒プロジェクト」を開始、2019年には全国47都道府県から123地域の米をブレンドした純米大吟醸「絆舞令和（きずなまいれいわ）」を造った。販売価格2,200円のうち、100円が被災地の支援に寄付される。
- 更に、「絆舞」の酒粕をよい仕事おこしネットワークを通して、全国各地の食品メーカーに提供、様々なメーカーは酒粕を利用した商品を開発した。例えば長崎の菓子メーカーがカステラ、静岡の漬物メーカーがわさび漬けなどを開発・販売している。

47都道府県の米を使用した日本酒「絆舞」



「絆舞」を利用した様々なコラボレーション商品

